

兵庫県防衛懇話会を開催



- ① 防衛懇話会を開催
- ② 各支部総会を開催
- ③ 退職自衛官の就職援護についてのお願い
- ④ 兵庫地方協力本部だより

発行 兵庫県防衛協会 電話 078-261-9780
印刷 コパルコビジネスマホート



尖閣諸島をめぐる問題について話す高橋氏

演題 「海上防衛の現状」 高橋義忠氏

兵庫県防衛協会は6月7日(金)、兵庫県自衛隊父兄会、兵庫県隊友会と共催し、自衛隊兵庫地方協力本部(本部長・服部正一陸佐)の支援を受け湊川神社補公会館(神戸市中央区)において「第17回兵庫県防衛懇話会」を開催した。本年度は、記念講演に、海上自衛隊阪神基地隊司令

の高橋忠義海将補を講師として迎えた。高橋司令は沖縄県那覇市にある第5航空群司令を経て、神戸市にある阪神基地隊司令の職に就いており、その経歴を基に「海上防衛の現状」と題して講演した。講演の内容は、尖閣諸島をめぐる歴史的な経緯や中国の国防戦略を解説、日中間で対立する領土をめぐる問題など日本の安全保障について話した。沖縄・尖閣諸島近海で頻繁する領空・領海侵犯などに対し今後、日本の取るべき行動としては、

一步も引かないこと、日本が誠実で信頼できる国であることのアピール、日米安保の堅持の三つを述べた。

講演は、約300人が聴講し、広く防衛思想の高揚を図ることができた。記念講演に引き続き懇親会が行なわれた。兵庫県選出の国会議員、自衛隊阪神病院長をはじめ兵庫県下に所在する自衛隊の部隊長等やその他多くの来賓を迎え、当会からは会員68名が参加し懇親を深めた。主催者代表



懇親会冒頭で主催者代表挨拶を行う大橋会長

挨拶で大橋会長は「我が国周辺の安全保障は誰の目にも明らかで厳しさの度を深めている。そんな中、我々兵庫県下の協力諸団体として相互に連携を深め、自衛隊に対するより一層の協力と防衛思想の普及に努めていく所存」と述べる等、参加者に協会活動の活発化への協力を呼びかけた。

本会を支援した兵庫地本は、今後も防衛懇話会を支援し、本会の更なる組織の活性化に努めていきたいとしている。

平成25年度 兵庫県防衛協会 定期総会開催

兵庫県防衛協会は6月7日(金)、湊川神社補公会館において、平成25年度定期総会(第47回)を開催した。

定期総会に先立ち理事會を開催し、平成25年度事業計画等の審議を行なったほか、東播・尼崎の各支部及び青年部会の報告を行なった。

その後、定期総会を開催し会員53名が参加した。平成24年度事業報告及び収支決算報告、平成25年度事業計画及び予算案を審議した。役員等人事については、運営委員、理事等の就任が承認され、各議案はすべて満場一致で可決された。その後、自衛隊からの感謝状・全国防衛協会連合会長表彰の受賞状況の紹介が行なわれた。最後に宮内常任理事が退職自衛官の就職援護に関するPRを「退職自衛官の就職援護についてのお願い」と題

して行ない自衛官の再就職受け入れへの理解を求めた。

新しく就任した役員は次のとおり

- 【運営委員】
- ㈱神戸製鋼所 代表取締役社長 川崎博也氏
- バンドー化学㈱ 執行役員 中村恭祐氏
- 【理事】
- 住友精密工業㈱ 取締役社長 三木伸一氏
- 一般社団法人神戸青年会議所理事長 松田幸治氏
- 【監事】
- ㈱神戸製鋼所総務部次長 秘書グループ長 神戸宏明氏



総会で事業報告等について報告を受ける会員

各支部総会開催

【青年部会】

4月19日(金)、神戸防災合同庁舎において第5回定期総会を開催した。

平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画を審議し満場一致で承認された。役員人事については、鶴村副会長、六島理事が退任した。議事終了後、自衛隊兵庫地方協力本部本部長・服部正一陸佐の講演による「勉強会」が行われた。中国、北朝鮮、ロシアの情勢や尖閣諸島をめぐる領空・領海侵犯の問題等について講演した。

その後、場所を三宮に変え、懇親会を行なった。新しく就任した役員は次のとおり

【副会長】

パワフルコム

代表 小川洋次郎氏

【同】

かねと窯

代表 清水圭一氏

【理事】

石井造園緑化㈱代表取締役 石井祥平氏

【同】

西部造園土木㈱代表取締役社長 武井彰氏

【同】

三晃商事㈱

専務 堀田進慎氏

【同】

株式会社平田建設 代表取締役社長 平田正人氏

【監事】

今北興業株式会社

今北芳生氏

【同】

㈱阪神セレモニ

芝泰雄氏

【東播支部】

6月8日(土) 明石市内において定期総会を開催した。

平成24年度事業報告・収支報告及び平成25年度事業計画・予算案を審議し満場一致で承認された。役員人事については、現役員が引き続き就任することが承認された。

【尼崎支部】

6月17日(月) 尼崎商工会議所において定期総会を開催した。

平成24年度事業報告・収支報告及び平成25年度事業計画・予算案を審議し満場一致で承認された。役員人事については、現役員が引き続き就任することが承認された。

議事終了後、第36普通科連隊長・近藤一陸佐の講演を聴講、その後懇親会を行なった。

兵庫県防衛協会は、2月18日(月) 自衛隊阪神病院(院長・森崎陸将補)の激励を実施した。

本事業は昭和53年から毎年行っており、今年も青年部会会長の小島成介氏が病院を訪れ病院長への表敬と入院患者の激

励を行った。

表敬時の懇談では、病院長をはじめ、副院長、看護部長が同席し阪神病院に勤務している隊員や看護学生、入院患者の現状など様々な話題について意見交換が行われた。

表敬後、広報班の案内で院内施設の説明を受け、病棟において小島青年部会会長が隊員の1日も早い回復を願って見舞品を手渡し、病院を後にした。

「自衛隊の団体生活や訓練等を体験したい。」という青年部会会員からの熱い要望に応えたもので、前回の平成21年から約4年ぶりに実施することとなった。

1日目、駐屯地に到着後、担当部隊の中隊長に体験入隊の申告を実施。その後、居室へ移動し貸与された迷彩服、半長靴に着替えた。居室は1部屋4人での団体生活、始めにベッドメイキングの教育があり、教官の説明に真剣に耳を傾けていた。

本体験入隊の目玉の1つである青野原駐屯地司令(第8高射特科群長)宮本久徳1陸佐の講話では我が国の安全保障や中国、北朝鮮の問題の他、部隊長の統率感、隊員との接し方など広範多岐にわたる内容について述べ、会員は聞き漏らさないよう、メモを取っていた。

会員からは会社を管理する者として非常に参考になりましたという感想が聞かれた。基本教練では、教官、助教による展示および指導により短時間で数時間前とは見違えるほどのキビキビとした動作を身に付けることができた。

その後、夕食と入浴を済ませ隊員クラブで8高群長以下中隊長、教官、助教等、青野原駐屯地隊員の参加を得て懇親会を実施、意見交換など相互に理解を深めた。

その後、夕食と入浴を済ませ隊員クラブで8高群長以下中隊長、教官、助教等、青野原駐屯地隊員の参加を得て懇親会を実施、意見交換など相互に理解を深めた。

2日目、起床後洗面を終え、訓練場に移動し、装備品の訓練展示を研修した。早朝にも関わらず指揮所やレーダーなどを開設し本番さながらの訓練を目の当たりにし、隊員の士気や練度の高さに圧倒されていた。続いて体験入隊のもう1つの目玉である15キロ行進を行った。隊員が行進の際に装備する鉄棒や背囊(リュック)を身に付け、青野原駐屯地に隣接する演習場に向かった。会員は顔に緑や黄色のドウランを塗り、気分は映画「ランボー」さながらであった。

生活体験入隊を終え、会員から「普段の生活で忘れていた時間の大切さや使い方を改めて考えさせてもらった。」「この貴重な体験を是非会社の社員にも体験させたい。」といった感想が聞かれるなど、会員にとって充実した2日間であった。

8高群長による講話

基本教練訓練中の参加者

行進前にドウランを塗る参加者



見舞品を渡す小島青年部会会長

青年部会体験入隊

兵庫県防衛協会青年部会は、1月29日～30日の間、兵庫県小野市に所在する陸上自衛隊青野原駐屯地において生活体験入隊を実施し、小島青年部会会長以下12名が参加した。本体験入隊は、

兵庫県防衛協会青年部会は、1月29日～30日の間、兵庫県小野市に所在する陸上自衛隊青野原駐屯地において生活体験入隊を実施し、小島青年部会会長以下12名が参加した。本体験入隊は、

兵庫県防衛協会青年部会は、1月29日～30日の間、兵庫県小野市に所在する陸上自衛隊青野原駐屯地において生活体験入隊を実施し、小島青年部会会長以下12名が参加した。本体験入隊は、

兵庫県防衛協会青年部会は、1月29日～30日の間、兵庫県小野市に所在する陸上自衛隊青野原駐屯地において生活体験入隊を実施し、小島青年部会会長以下12名が参加した。本体験入隊は、

兵庫県防衛協会青年部会は、1月29日～30日の間、兵庫県小野市に所在する陸上自衛隊青野原駐屯地において生活体験入隊を実施し、小島青年部会会長以下12名が参加した。本体験入隊は、



8高群長による講話



基本教練訓練中の参加者



行進前にドウランを塗る参加者

退職自衛官の就職支援についてのお願

兵庫県防衛協会 常任理事

自衛官はその任務の性格上、危険を顧みず日夜真剣に職務・訓練に従事し、国土の防衛並びに保全に努めています。

一方、その精強性を保持する観点から、階級に従い夫々若年定期制が敷かれています。一般企業に於いて今後は65歳定年へと向かう中、自衛官の退職年限は概ね53歳から56歳となっており、まだまだ働き盛りの年齢であります。また、若年層については、20歳代であるが任期制を取っており、2士から士長まで2年から3年の任期を終えて退職を迎えます。任期を終えて引き続き自衛官の道を歩む者もあれば、退職する若者もおります。定年制・任期制の何れの自衛官も、部隊における教育訓練等により身に付けた特殊技術を持し、精神的にも肉体的にも

も引き続きその健全さは変わりなく、一般社会ではまだまだ第一線級の能力・気力・体力を備えています。更に厳しい日常の教育訓練により、誠実性・真面目さ・規律性が極めて高く、忍耐強さも併せ持つております。このようなことから、多くの民間企業の就職先でも高い評価と信頼を得ております。退職後は生計を維持するために再就職が必要不可欠となります。

このような観点から退職後の就職支援を促進する事により現職自衛官の士気高揚はもとより、受入企業様には優れた人材の確保ができることは自明です。このことが自衛隊への自主志願制を採っている我が国の防衛を成り立たせる基盤であることから、防衛省は、様々な施策を展開し、民間への再就職に際し必要な技能訓練や再就職への心構えに加え、必要な知識教育などにも取り組んでおります。再就職先を安定的に準備する事により、自衛官が後顧の憂い無く現

職の職務に専念し、円滑な部隊運営の一助となり、また、再就職をお引き受け頂いた企業様は、ひいては国家・社会の安全への大きな貢献を果たす事となります。本防衛協会の会則にもその支援を行う旨が明示されています。会員企業様のご理解を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

Event information

- ・富士総合火力演習 8月24日(土)・25日(日)
- ・今津駐屯地記念日行事 9月15日(日)
- ・中部方面隊記念日行事 10月12日(土)・13日(日)
- ・明野航空祭 10月20日(日)予定
- ・自衛隊音楽まつり(東京) 11月中旬
- ・福知山駐屯地記念日行事 11月16日(土)~17日(日)
- ・姫路駐屯地記念日行事 11月3日(日)
- ・中部方面音楽まつり 平成26年1月

- ・艦艇一般公開(姫路) 7月15日(月)(祝)
- ・第17回神戸とさきめきコンサート 12月1日(日)

- ・阪神基地隊サマーフェスタ 7月20日(土)
- ・舞鶴地方隊サマーフェスタ 7月27日(土)
- ・岩国航空祭 9月15日(日)
- ・徳島航空祭 9月28日(土)予定
- ・小松航空祭 10月5日(土)
- ・岐阜航空祭 11月24日(日)
- ・浜松航空祭 10月20日(日)

※日程は変更になることがあります。日程の確認・イベント内容のお問合せは、それぞれの基地・駐屯地にお問合せいただくか、自衛隊兵庫地方協力本部渉外広報室 TEL.078-261-9780 までお問合せ下さい。

見学参加者 募集!

応募は兵庫県防衛協会の会員に限ります

国内でも最大規模を誇る実戦さながらの火力演習



行動予定	1日目	09:00 集合 集合場所: JR三ノ宮駅周辺 移動: 大型バス(高速道路利用) 昼食: 車内にて弁当 17:00 ホテル着(河口湖周辺のホテルを予定) 夕食(懇親会を予定)
	2日目	07:30 ホテル発 10:10~12:00 火力演習を見学 昼食: 御殿場周辺レストラン予定 移動: 大型バス(高速道路利用) 19:30 解散: JR三ノ宮駅周辺

FIRE POWER 2013 in FUJI

お申込みは、8月2日(金)まで

- 時期: 平成25年8月23日(金)~24日(土)
- 場所: 静岡県御殿場市東富士演習場(畑岡地区)
- 参加費用 25,000円(1泊4食、懇親会、バス代、保険等を含む) 事前に、銀行振込みにて徴収させていただきます。参加される方には、あらかじめ振込み先を連絡させていただきます。
- 募集人数を35名と予定しております。先着順で電話にて参加の申し込みを受け付けます。希望される方は、下記までお申し込み下さい。
- 参加される方には、研修の詳細が決まり次第、あらかじめ案内を送付させていただきます。

小松基地 航空祭



大型バスで楽々移動

お申込みは、9月20日(金)まで

KOMATSU AIR BASE

- 時期: 平成25年10月5日(土)
- 場所: 航空自衛隊小松基地(石川県小松市)
- 参加費用 3,000円(バス代、保険を含む)当日徴収させていただきます。
- 募集人数を40名と予定しております。先着順で電話にて参加の申し込みを受け付けます。希望される方は、下記までお申し込み下さい。
- 参加される方には、研修の詳細が決まり次第、あらかじめ案内を送付させていただきます。

行動予定	07:30 集合 集合場所: JR三ノ宮駅周辺 移動: 大型バス(高速道路利用)
	11:00 小松基地着 航空祭見学
	14:30 小松基地発 移動: 大型バス(高速道路利用)
	19:30 解散: JR三ノ宮駅周辺

F-15J、ブルーインパルス等の展示飛行が予定されています。

第2級賞状受賞

自衛隊兵庫地方協力本部(本部長・服部正一陸佐)は、平成25年6月18日(火)東京市ヶ谷で行なわれた優秀地本表彰式において陸上幕僚長君塚栄治陸将から第2級賞状を受賞した。これは地本の業務である隊員の募集業務や就職援護業務等において優秀な成績を収めた地方協力本部に贈られる賞で、毎年、全国50個ある地方協力本部の中から15個が選ばれている。今回の受賞は各協力団体及び協力者との密接な関係があつてこそ頂けたものであり、



陸上幕僚長より表彰を受ける服部本部長

航空祭研修

兵庫地本は5月19日(日)兵庫地本女性モニター及び防衛モニター11名に対し、美保基地航空祭の研修を行った。当日は雨天にもかかわらず会場は約6万人の観客で賑わった。

参加者は、並べられた多種多様な航空機を見ながら1機ずつ写真に収め、また説明をしていた隊員に「航空機はなぜ青色や迷彩や白色と分かれている。」と

兵庫地本としては、今後各協力団体等と良好な関係を築き、協力体制を強化していきたいとしている。

「か？」と質問していた。約4時間半の研修であったが、最後はブルーインパルス6機による一糸乱れぬ編隊飛行に参加者は大変感銘を受けた。「今日ここに出来て良かった。」と自衛隊に対する興味を一段と高めていた。



航空機の前で記念撮影する第12期女性モニター

「ひょうちん」初取材

兵庫地本は、平成25年5月19日(日)第3師団創立52周年記念行事において、自衛隊兵庫地方協力本部の Mascot 「ひょうちん」が創立

記念行事を紹介する演出で初のTV取材を受けた。当日の天気はあいにく雨の予報。午前中は願いがたいとしている。



戦車の横で撮影する「ひょうちん」

募集説明会

兵庫地本は、5月18日(土)・19日(日)に千僧駐屯地で実施された第3師団記念行事において、募集広報ブースを設置し募集活動を実施した。来場者数は約1万9千人と大盛況のもと駐屯地を訪れている若者に対して各種募集説明を実施して、今後の募集の姿を得

届いたのか雨は降らず少し蒸し暑さはあったものの撮影は順調に進んだ。しかし、訓練展示が終了するお昼頃から雨が降りはじめ、午後からの撮影は午前中と違い、雨と暑さとの戦いの撮影となった。「ひょうちん」は



熱意をもって募集説明!

募集説明を受けた若者は、「勇壮な隊員と装備を見て、ぜひ自衛官になりたい。」などと語った。当地本としては、県内にある駐屯地及び基地のイベント等の場を活用し、募集広報活動を実施して、良好な隊員獲得につなげていきたいとしている。

潜水艦見学

兵庫地本は、4月14日(日)海上自衛隊阪神基地において、募集対象者に対し潜水艦見学を実施した。

まず初めに庁舎会議室において乗組員から潜水艦の概要説明が行われ、その後に乗員の案内による艦内見学が実施された。約1時間の潜水艦見学

潜水艦の入り方を教わる高校生



を終えた参加者は、「狭い空間を有効に利用されていた。」「三日に一度しかシャワーを浴びられない、過酷な生活環境を克服して任務に当たる隊員を頼もしく感じた。」と語った。

兵庫地本としては、今後も実物・実体を見せる広報活動を実施して自衛隊の真の姿を広報するとともに、適質な隊員獲得に繋げたいとしている。

兵庫地本の情報はHPからご覧いただけます。

自衛隊兵庫地方協力本部 検索

QRコード

兵庫地本 Mascot 「ひょうちん」